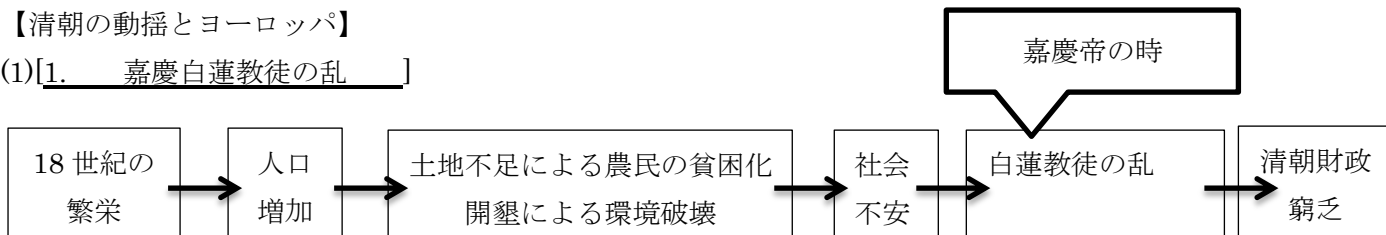


近現代史(24) アジア諸地域の動揺④ 東アジア【1】「アヘン戦争とアロー戦争」

【清朝の動揺とヨーロッパ】

(1) [1. 嘉慶白蓮教徒の乱]



(2) ヨーロッパと冊封体制

・従来の東アジアの国際秩序＝冊封体制＝朝貢貿易 に対する挑戦

<露清関係>

・ [2. ネルチンスク条約] (1689) …康熙帝とピョートル1世が結んだ対等条約。
国境を [3. アルグン川] と [4. スタノヴォイ山脈] とした。

・ [5. キャプタ条約] (1727) …雍正帝時代に結ばれる。モンゴルとシベリアの国境画定。

・ [6. ラクスマン] 派遣 (1792) …エカチェリーナ2世が北海道の根室に派遣して通商を求める。

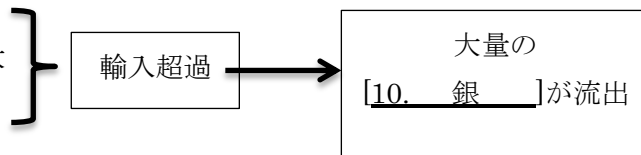
<英清関係>

・ [7. マカートニー] の派遣 (1792) …乾隆帝時代の清朝に派遣。広州1港の現状に満足せず、その他の港の開放など自由貿易を要求した。乾隆帝は朝貢貿易以外は認めず、イギリスの要求を拒否。

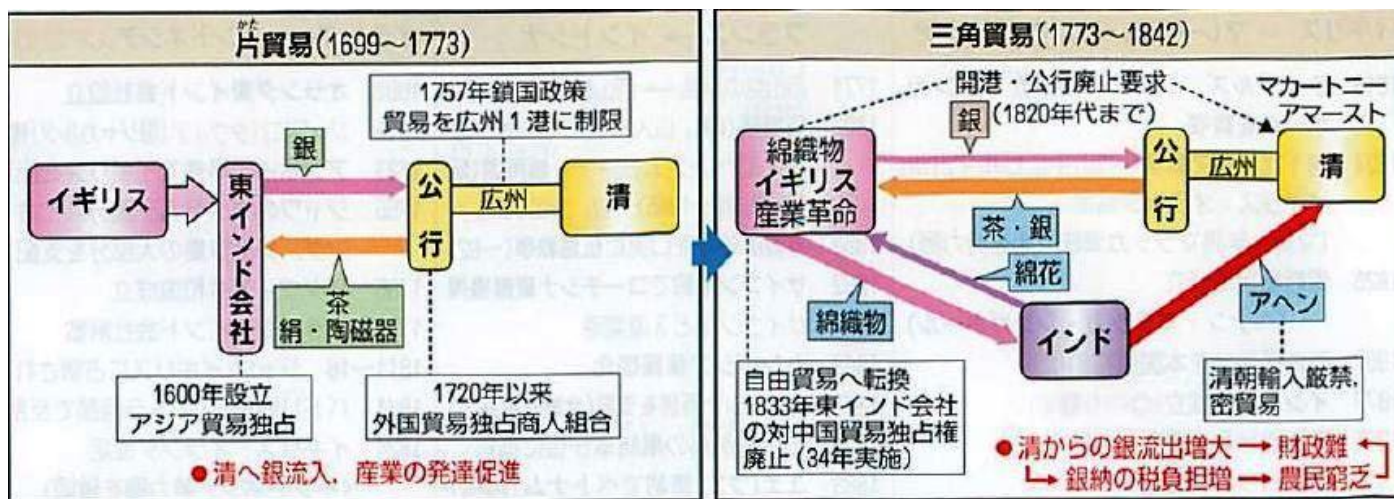
(3) 自由貿易帝国主義

① イギリス輸入超過で銀流出

・ 本国での [8. 茶] の需要の増大にともない輸入が増大
・ 産業革命の工業製品 [9. 綿製品] は中国で売れない



② アヘン三角貿易



イギリス、本国の [11. 綿製品] をインドに、インド産の [12. アヘン] を中国に運ぶ三角貿易を始める。清朝ではアヘンの吸引が広がり、アヘンの密貿易は増えて、大量の銀が国外に流出。

↓
1839 欽差大臣 [13. 林則徐] アヘンの取り締まり

↓
1840 [14. アヘン戦争] 勃発! (1840~1842)

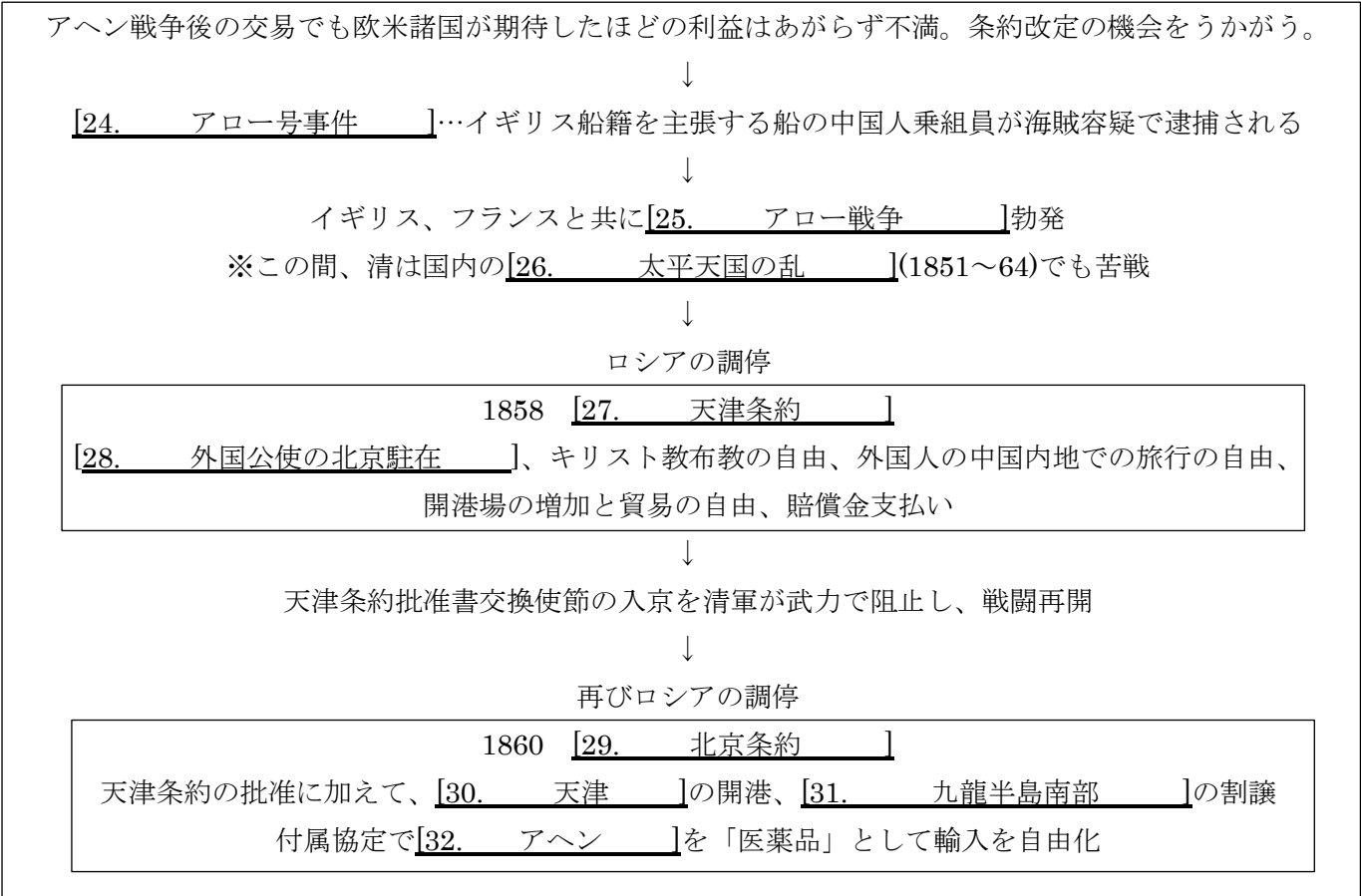
【欧米諸国との条約】

- (1)[15. 南京条約](1842)
- ・ [16. 香港]島の割譲
 - ・ 上海、寧波、福州、厦門、広州の5港の開港
 - ・ [17. 公行]の廃止
 - ・ 賠償金の支払い

アメリカとは[22. 望厦条約]
フランスとは[23. 黄埔条約]

- [18. 五口通商章程](1843年7月)
 - ・ 清はイギリスの領事裁判権を認める
 - [19. 虎門寨追加条約](1843年10月)
 - ・ 輸出入税率
 - ・ 片務的[20. 最恵国]待遇
 - ・ 開港場における土地租借と居住権の付与
- [21. 租界]に発展

(2)アロー戦争



(3)ロシアの進出

＜露清間国境条約＞		
ネルチンスク条約	1689	康熙帝・ピョートル1世(スタノヴォイ山脈とアルゲン側)
キャフタ条約	1727	雍正帝(モンゴル北辺の国境)。交易場の設置も決定。
33. アイグン条約	1858	東シベリア総督[34. <u>ムラヴィヨフ</u>]。清の苦境に乗じて[35. <u>アムール川</u>]以北を獲得。
36. 北京条約	1860	アロー戦争講和斡旋の代償として[37. <u>沿海州</u>]を獲得。 [38. <u>ウラジオトク港</u>]。
39. イリ条約	1881	東トルキスタンの混乱に乗じてロシアが獲得したイリ地方返還。トルキスタンの国境を画定。ロシアの[40. <u>アレクサンドル2世</u>]締結

☆ロシアは中央アジアでも南下の勢いを示し[41. ウズベク]人のブハラ、ヒヴァ、コーカンドの3ハン国を支配下に置いた。